

税の作文表彰式

11月13日㊤に玉名市で行われた、「令和3年度中学生の税についての作文表彰式」で、町内在住の2人が各賞を受賞しました。これは、税への関心と理解を深めてもらうために、税を考える週間実行委員会が募集しているもので、ことしは、荒尾・玉名管内から1,108点の応募がありました。

ここでは、長洲町長賞に選ばれた元田夏実さんの作文を紹介します。



【長洲町教育長賞】

荒木 ゆいさん（長洲中3年：建浜）

「税金の大切さ」



【長洲町長賞】

元田 夏実さん（腹栄中3年：平原）

「わたしたちと身近な税」

「わたしたちと身近な税」

腹栄中学校3年

元田 夏実

わたしたちの生活の中には、税があります。税は、国民が納める義務であり、わたしたちの身近にあります。

税はわたしたちが使う教科書や公施設、信号、医療費などに使われています。

私は、税はどのように納められているのか気になりました。

私は、消費者が納める消費税や会社が納める法人税、会社に勤めている人や自分で店を営んでいる人が納める所得税などがあることを知りました。消費税や法人税や所得税は国に納め、住民税や事業税や地方消費税は県市町村に納めるなど、税の種類によって納め方や納める場所が異なることに驚きました。

また、税を納める義務は憲法によって定められています。税は、国民の重要な義務と言うことを忘れないようにしようと思いました。税に関する法律は国会や県市町村会議で定められ、税に関する法律を定める議員を選挙で決めます。

財政によって、公共サービスや公施設が提供されます。つまり、わたしたちが税金を納めることで公共サービスや公施設を提供することができます。また、国民の所得の差を小さくする働きもあります。

地方によって歳入や歳出の値と総額は各県によって異なっていて、教育費や公債費などの様々な費用に歳出していることがわかりました。

国の歳入と歳出の総額が変わらないことに驚きました。たくさん費用が私たちのために充てられていることを知りました。

このように税金のことについて考えて、私はわたしたちのために国や都道府県が歳入歳出をしていることがわかりました。また、税を納めるという義務は私たちにとって大切なことだと改めて思いました。そのような税に関する法律を定める議員を選挙に積極的に参加して、わたしたちの身近にある税について考え、もっと知っていききたいと思います。



ごみ拾いをする参加者

11/3 ボランティアで清掃活動
グリーンウォークを開催しました

長洲町社会福祉協議会（中逸博光会長）と長洲町手をつなぐ育成会（山口幸明会長）は、グリーンウォークを開催しました。

これは、町民がグリーンウォークをとおして、ボランティア活動の役割や必要性の認識を深め、誰もが、いつでも、どこでも、気軽に、楽しく、ボランティア活動に参加できるようなまちづくりの促進とボランティアの振興につなげていくことを目的に行われています。

この日は、約250人が参加し、長洲駅周辺や国道501号沿いなどを作業しました。



カーブミラーを清掃する会員

11/14 地域の交通安全を願って
交通安全協会腹赤支部がカーブミラー清掃

荒尾地区交通安全協会腹赤支部（吉田正支部長）は、腹赤小校区内のカーブミラーの清掃活動を実施しました。

これは、地域の交通安全を願って行われたもので、同支部から6人が参加し2班に分かれて校区内のカーブミラーを清掃しました。

吉田支部長は、「子どもたちや地域の皆さんが安全に過ごせるように願っています。暗くなるのが早くなってきたので、今一度交通安全に気をつけてほしいです」と話しました。



ペタンクを楽しむ区民

10/31 区民の交流の場を
古城區がペタンク大会を開催

古城區（橘馨区長）は、古城公園で区民ペタンク大会を開催しました。

これは、毎年開催しているレクリエーション大会が新型コロナの影響で開催できなかったが、区民間の交流と親睦を図り、区の活性化につなげるために初めて開催されました。

この日は、各班から1チームが参加し、全12チーム約50人によるトーナメント形式で行われました。

橘区長は、「このような活動を来年度以降も続けていきたいです」と話しました。



修了式に参加した子どもたちと人権擁護委員の皆さん

11/9-10 ~人権啓発活動地方委託事業~
11/9-10 六栄小で「人権の花」運動修了式

六栄小学校（下田真壽校長）で、児童たちが大切に育ててきた花の種を収穫し、人権の花運動の修了式を行いました。

この運動に取り組んだ児童の想いをつなぐため、花の種には「大切に育ててね」など想いを込めたメッセージが添えられ、人権擁護委員へ引き渡されました。

参加した子どもたちは「ここで綺麗な花を咲かせてくれるといいなと思います」と笑顔を見せました。



受賞報告をした島永さん（左）

10/26 警察協力功労者表彰
島永邦生さんが受賞

島永邦生さん（新山区）は、町役場を訪れ、警察協力功労者表彰を受賞したことを報告しました。

これは、熊本県警察本部（山口寛峰本部長）が、長年にわたって地域での交通安全運動や防犯活動などに貢献し、警察業務に協力・支援している人や団体に対して贈られるものです。

島永さんは、熊本県警察官友の会荒尾支部長として活動するとともに、荒尾地区自家用自動車協会荒尾支部長や荒尾警察署沿岸警備協力会監査役などを務め、地域の交通安全や防犯活動に貢献されています。



500年前から今日までの町歴史を学ぶ参加者

10/27 地域の歴史を知り交流を図る
向野区で地域交流学習会を開催

向野区（緒方映子区長）は、向野公民館などで向野区地域交流学習会を開催しました。

これは、区民の交流と学習を目的としているもので、区民22人が参加。町文化財保護委員による講話や区内の史跡を見学するなどの交流と学習活動が行われました。

また、この日は町が実施したチャレンジデーの一環としても、区内の史跡巡りをウォーキング活動として実施しました。



ゆるキャラたちもお出迎えしました

10/15 荒尾・玉名地域の魅力をPR
観光列車「36ぷらす3」が1周年記念

JR九州の観光列車「36ぷらす3」の運行1周年を記念して、JR玉名駅で観光PRを行いました。

この日は、ふれきんちゃんをはじめ、たくさんのゆるキャラが列車を出迎え、長洲町は「金魚すくい体験」でおもてなしをしました。

また、36ぷらす3が鉄道に関する優れた取り組みを表彰する第20回日本鉄道賞の「特別賞」を受賞したことを受け、客室乗務員の皆さんから、JR玉名駅でのおもてなしに対して感謝状が贈られました。



功労者表彰を受賞した増村さん

10/27 令和3年度熊本県家庭教育支援功労者
増村公子さんが受賞

増村公子さん（大明神区）は、熊本県庁で開催された令和3年くまもと家庭教育支援関係者フォーラムで、令和3年度熊本県家庭教育支援功労者表彰を受賞しました。

増村さんは、長洲小学校放課後子供教室の平成20年の教室立ち上げ当初からスタッフとして携わり、平成22年からはコーディネーターとして現在まで13年間、放課後の子どもたちの居場所づくりやさまざまな体験活動の提案・実践を通して、子どもの心に寄り添う指導をされてきました。

また、町子ども会連合会の本部役員として13年間、地域の子どもの健全育成に大きく貢献されたなどの功績に対して今回の受賞となりました。